

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営目標

製造からリサイクルまでエネルギーを極少化させ、世界中に移動する喜びを提供しカーボンニュートラルを目指す

売上収益
8兆円

営業利益
8,000億円

営業利益率
10%

ROE
13%

② 中長期の経営戦略

1. 四輪事業の推進

各国規制対応のBEV投入、CNG車・FFVなど多様な選択肢提供。日本では登録車販売拡大と適正価格戦略で収益向上

3. グローバル展開

欧州では先進規制対応、インド製モデル活用。中東・アフリカではインド製活用で開拓。ASEAN中心にインドネシア再構築

2. インド事業強化

最重要市場でシェア50%、BEV生産販売輸出1位を目指す。SUV・MPVの商品力強化とエントリーモデル開発に注力

4. 技術戦略の実行

軽量安全車体、バッテリーリッチなBEV・HEV、効率的ICE・CNF技術、SDVライト、易分解設計を5つの柱に開発

③ 対処すべき課題

① カーボンニュートラル達成

- ・ 2050年グローバルでCO2排出ゼロ化を目標に取組み
- ・ 2030年度に2022年度比42%削減の中間目標を設定

② 収益体質の改善

- ・ BEV比率増加や労務費上昇、原材料費高騰への対応
- ・ 2030年代前半ROE15%達成を見据えた必要投資推進

③ 新事業創出と協業

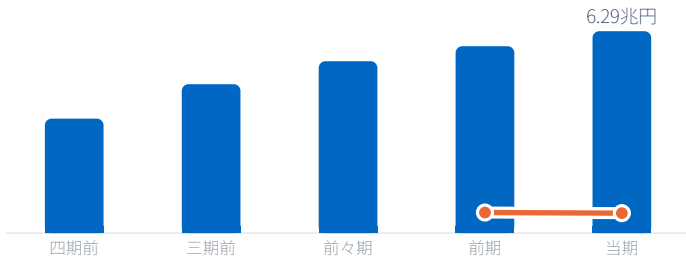
- ・ サービスモビリティ、エネルギー分野での新規事業立ち上げ
- ・ インドでバイオガス事業を推進し社会課題を解決

面接で使えるポイント

- ・ 2030年度売上8兆円、営業利益率10%の達成に向け、各事業での取組みが社会課題解決とどう繋がるのか
- ・ インドを最重要市場としてシェア50%、BEV1位を目指す戦略で、スズキの小型車の強みがどう活かされるのか
- ・ 設備投資2兆円、研究開発費2兆円の4兆円計画でエネルギー極少化技術にどう取り組むのか

証券コード 7269

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6.29兆円営業利益率
9.9%財務健康度
65点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
828万円

輸送用機器内 11位/82社

平均年齢
41.0歳

輸送用機器内 68位/83社

平均勤続
18.0年

輸送用機器内 32位/83社

女性管理職
2.2%

輸送用機器内 56位/72社

男性育休
73.2%

輸送用機器内 41位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: スズキ、自動車の設計業務基盤にSmartDBを導入 -日本と

